

錦帯橋
世界遺産
セミナー2021

錦帯橋における オーセンティシティ（真実性）



延宝

天和

元禄

正徳

元文

寛保

延享

宝暦

明和

安永

天明

寛政

享和

文化

文政

天保

弘化

嘉永

安政

明治

昭和

平成

令和3年(2021年)

12/19日

10:00~12:00

岩国国際観光ホテル 錦雲閣

主催/錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会

後援/一般社団法人日本イコモス国内委員会、岩国ユネスコ協会

【プログラム】

- 10:00 開会
講演 1
講演 2
12:00 閉会



▶ 講演 1

「世界における木造建築遺産の保存・継承方法とオーセンティシティ（真実性）」

講師：マルティネス アレハンドロ 氏



プロフィール

- 1984年徳島県生まれ
- 京都工芸繊維大学デザイン・建築学系助教、博士（工学）、錦帯橋世界遺産登録推薦書案作成部会メンバー、イコモス国際木の委員会委員
- 専門：建築遺産、木造建築、建築保存
- スペインの大学を卒業後、設計事務所勤務を経て、2010年に日本に留学し、東京大学で学位を取得。学位取得後、東京文化財研究所勤務を経て現在に至る。
- 日本及びヨーロッパの木造建築遺産について、各国における建築の特徴や保存継承の方法、伝統技術（大工技術等）の保存継承の取組や今後の可能性などの調査研究を行う。錦帯橋を研究対象の1つにしている。



▶ 講演 2

「錦帯橋におけるオーセンティシティ（真実性）」

講師：清水 重敦 氏



プロフィール

- 1971年東京都生まれ
- 京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授、博士（工学）、錦帯橋世界文化遺産専門委員会委員、錦帯橋世界遺産登録推薦書案作成部会メンバー
- 専門：建築学、建築史・意匠
- 東京大学で学位を取得後、奈良文化財研究所景観研究室長を経て、現在に至る。
- 文化的景観を軸に、主に都市における文化遺産の保存と活用の統合的アプローチの開拓に力を注ぐ。錦帯橋においては、世界遺産の取組のみならず、錦帯橋のオーセンティシティ（真実性）の角度から名勝錦帯橋保存活用計画の策定にもご尽力をいただいた。



世界における木造建築遺産の保存・継承方法と オーセンティシティ(真実性)

京都工芸繊維大学
マルティネス アレハンドロ



木骨造住宅の町並み



木骨造住宅の町並み イギリス・ヨーク 14世紀



木骨造住宅の町並み
スイス・ルツェルン 18世紀頃



木骨造住宅の町並み
フランス・パリ 14世紀頃



木骨造住宅の町並み
スペイン・ラ アルベルカ 18世紀頃



ログハウス構造の住宅
ノルウェー民族博物館 18世紀



ログハウス構造の住宅 ノルウェー・ベルゲン 18世紀



ログハウス構造の住宅
ウクライナ・リヴィウ民族博物館 19世紀



ログハウス構造の教会
ウクライナ・ポテリッチ 1502年

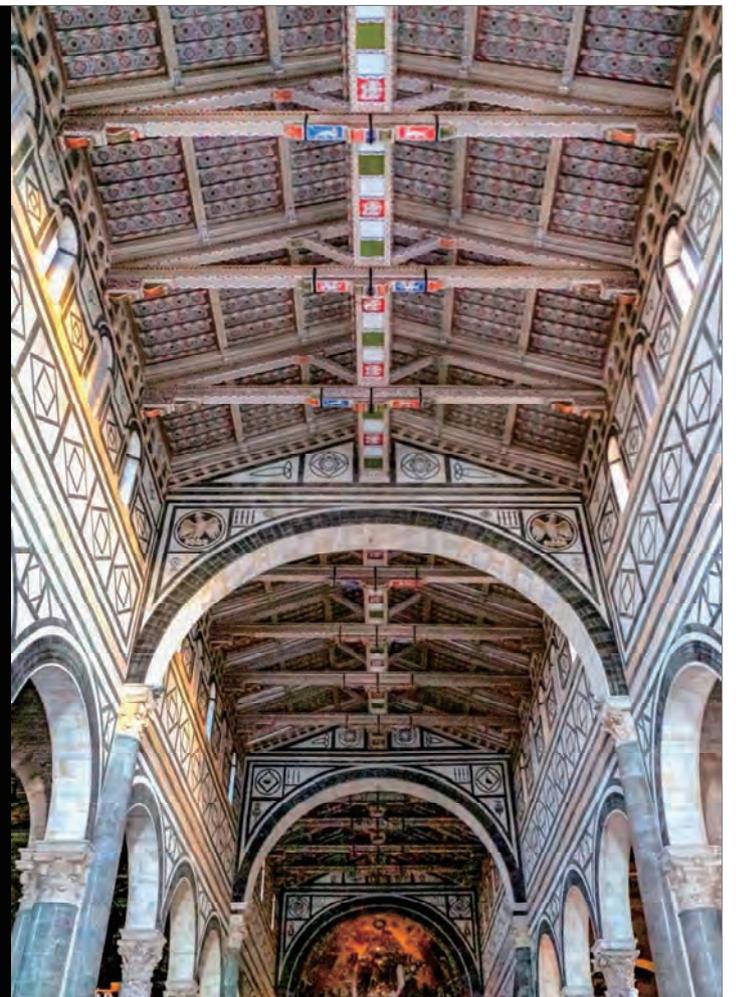
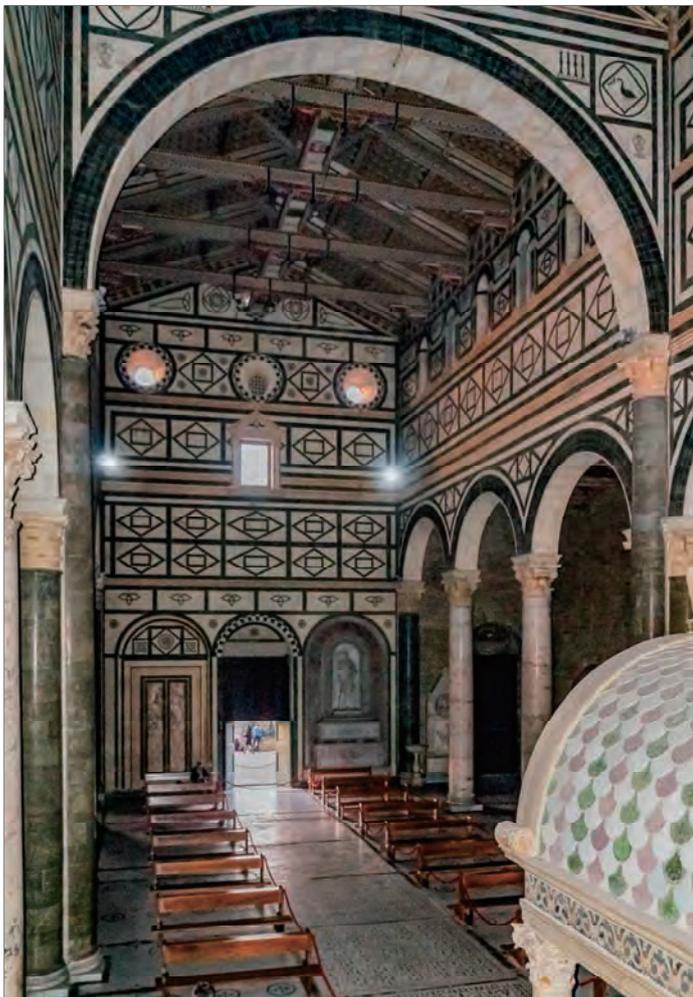


ログハウス構造の教会
ウクライナ・ポテリッチ 1502年



ログハウス構造の教会
ポーランド・チョティニエツ 1600年頃

木造屋根構造
イタリア
フィレンツェ
1018年





木造屋根構造
イギリス・ソールズベリー 1258年



木造屋根構造
イギリス・ソールズベリー 1258年



木造屋根構造

フランス・ピレネー＝アトランティック 15世紀



木造屋根構造

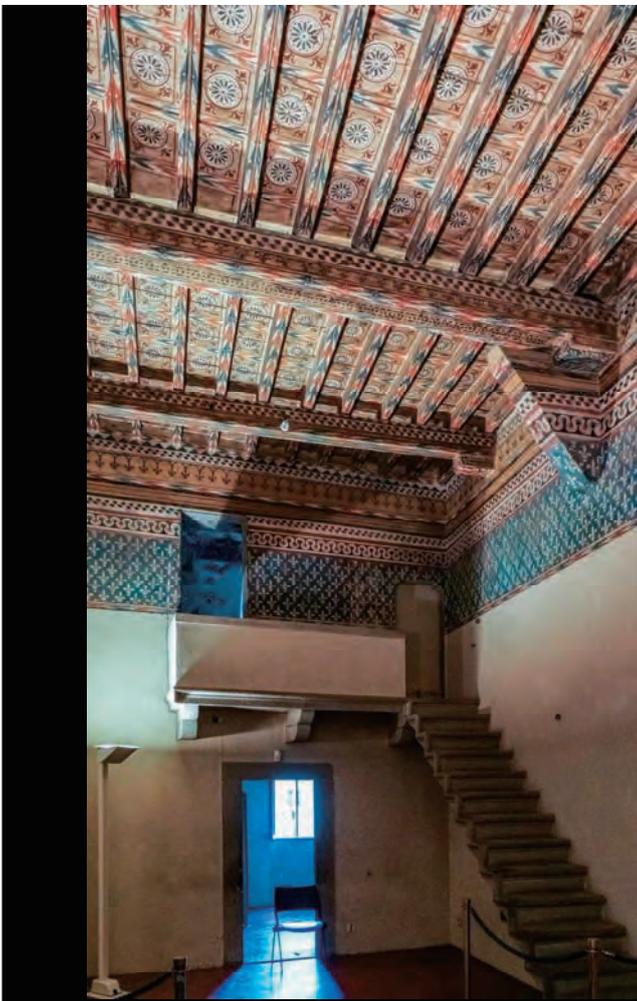
フランス
ピレネー＝アト
ランティック
15世紀



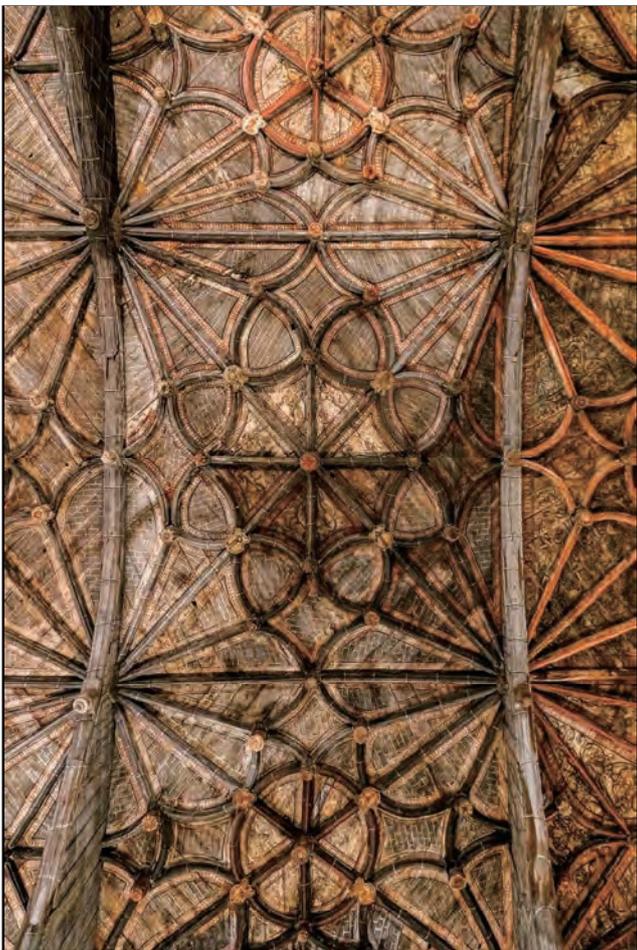
木造屋根構造
イギリス・オックスフォードシャー 1292年頃



木造屋根構造
イギリス
オックスフォードシャー
1292年頃



木造の床・天井 イタリア・フィレンツェ 15世紀



木造ヴォールト天井

12 スペイン・バスク地方 1559年



木造ヴォールト天井
スペイン・バスク地方 16世紀



木造天井
スペイン・トレド 14世紀



木造天井
スペイン・セヴィリア 1427年

(Mikel Landa撮影)



木造ヴォールト天井
イギリス・イーリー 14世紀



木造ヴォールト天井
イギリス・イーリー 14世紀

文化的意義

CULTURAL SIGNIFICANCE

遺産の様々な価値を総括的に考えたときに浮かび上がる「ものがたり」

使用価値

USE VALUE

象徴的な価値

SYMBOLIC VALUE

建築作品としての価値

ARCHITECTURAL VALUE

文化的意義

CULTURAL SIGNIFICANCE

歴史的資料としての価値

DOCUMENTAL VALUE

技術的な価値

TECHNICAL VALUE

古さによる美的価値

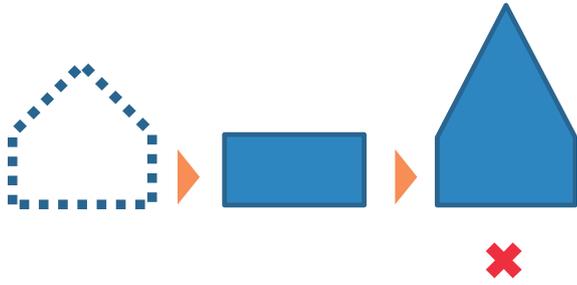
AGE VALUE

建築史上の価値

ARCHITECTURAL HISTORY VALUE

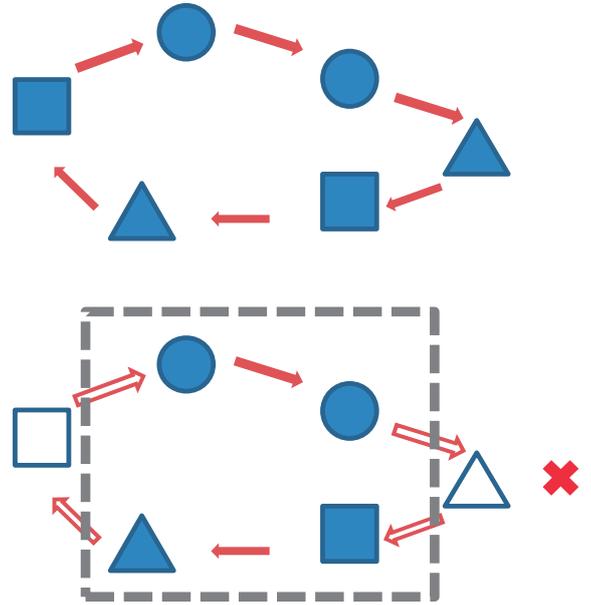
真実性

AUTHENTICITY



完全性

INTEGRITY



文化的意義 / 顕著な普遍的価値

CULTURAL SIGNIFICANCE / OUTSTANDING UNIVERSAL VALUE

属性 (ATTRIBUTES)

真実性

AUTHENTICITY

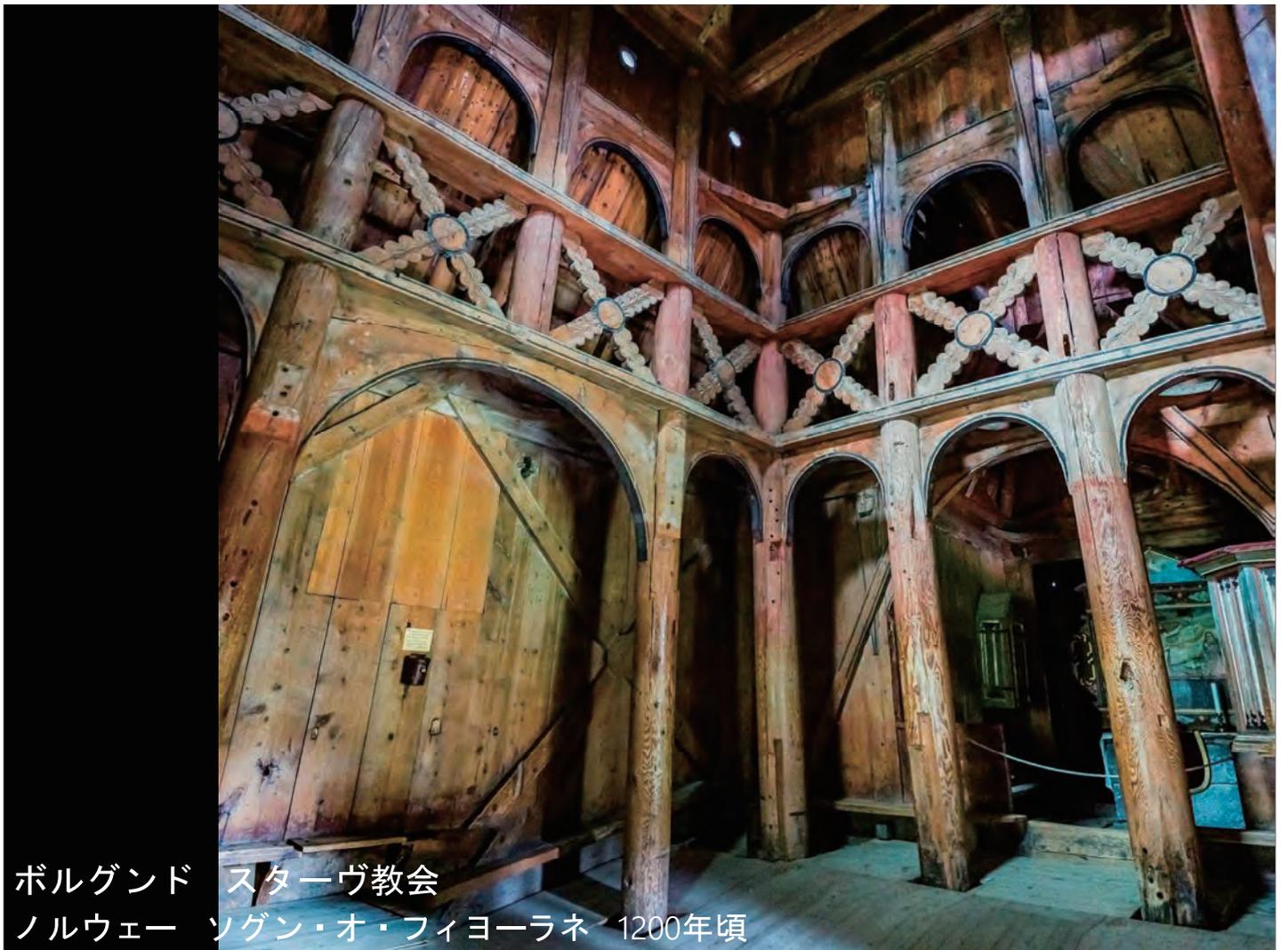
形態と意匠	伝統と技術	精神と感性	
材料と材質	立地と環境	用途と機能	その他



ウルネス スターヴ教会
ノルウェー
ソグン・オ・フィヨールネ
1130年頃



ボルグンド スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨールネ 1200年頃



ボルグンド スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1200年頃



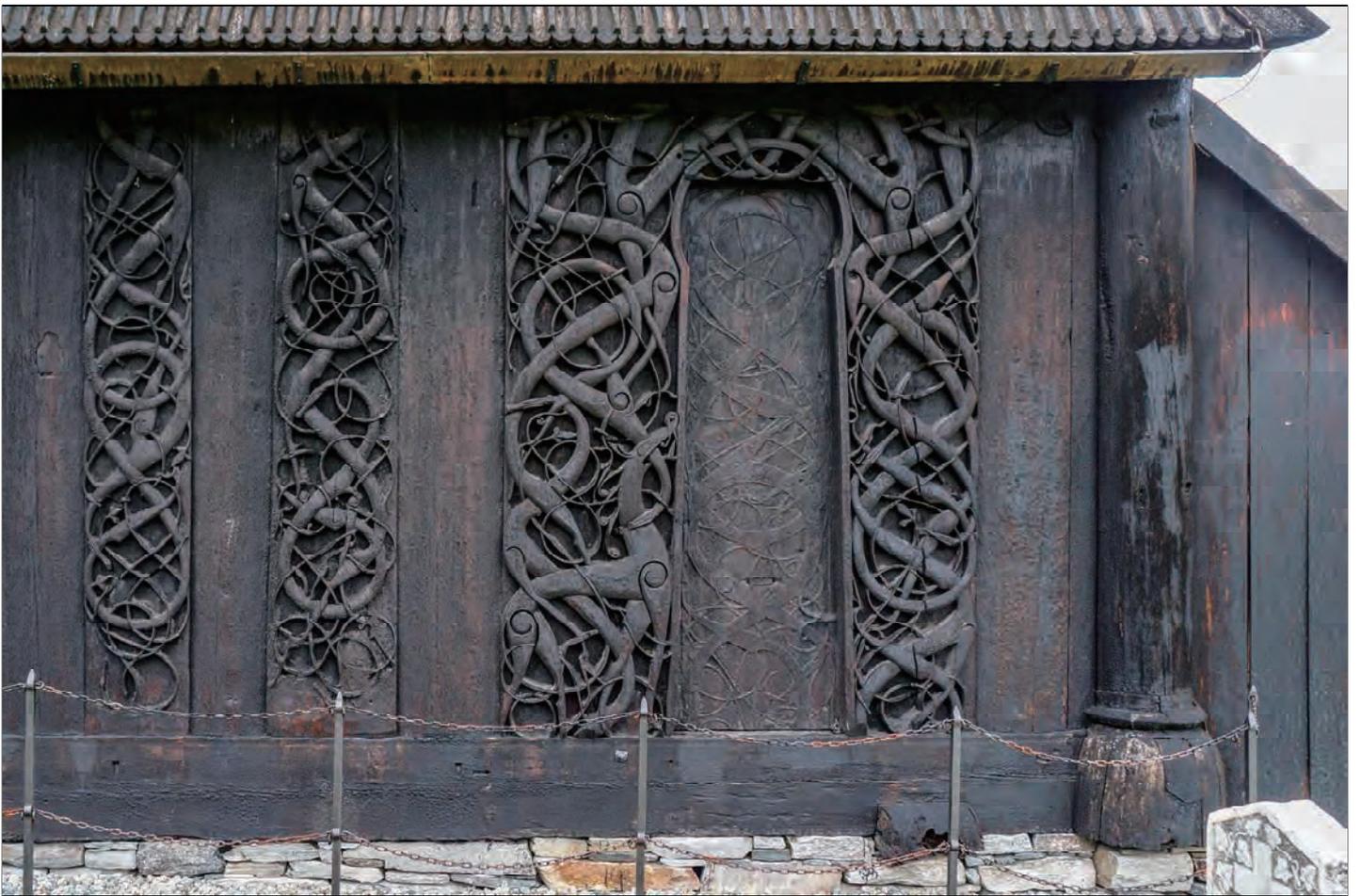
ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃



ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃

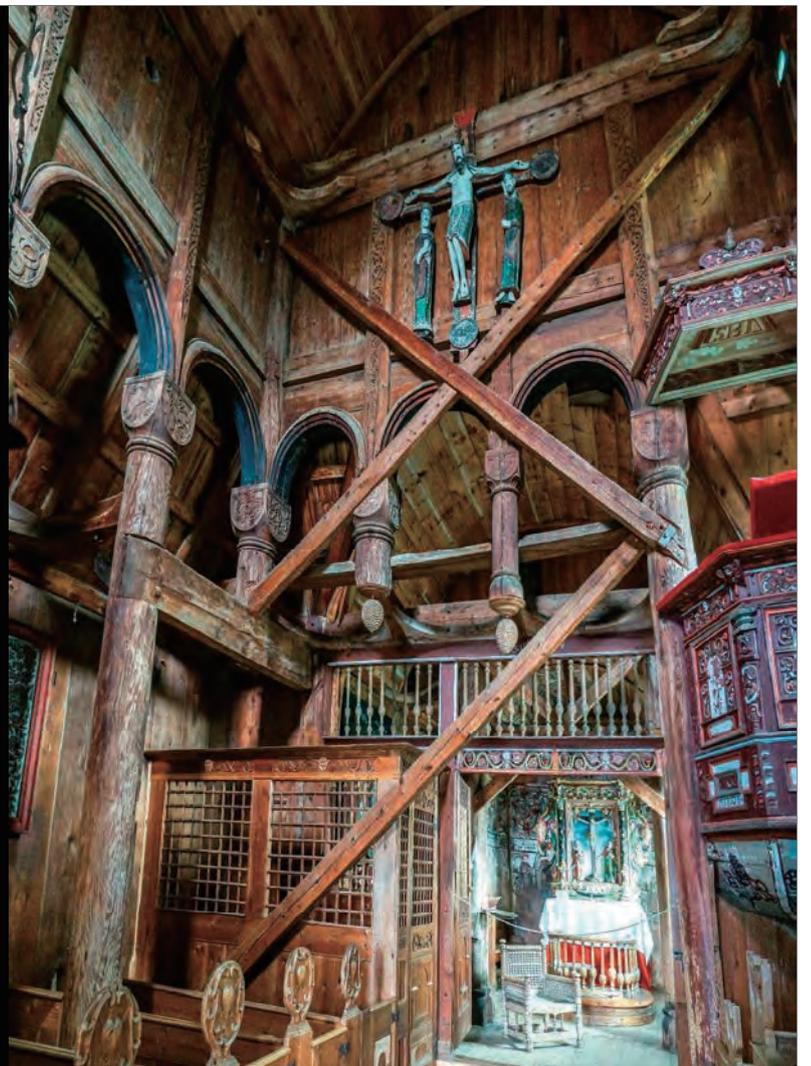


ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃

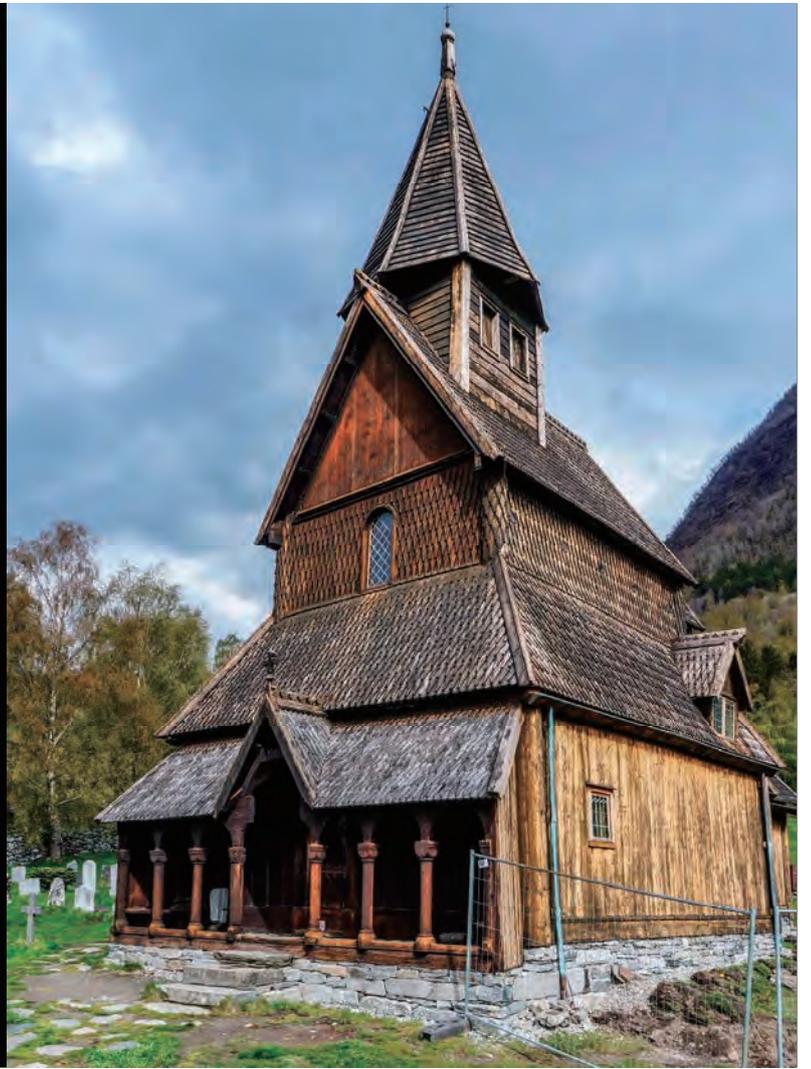


ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃

ウルネス スターヴ教会
ノルウェー
ソグン・オ・フィヨラネ
1130年頃



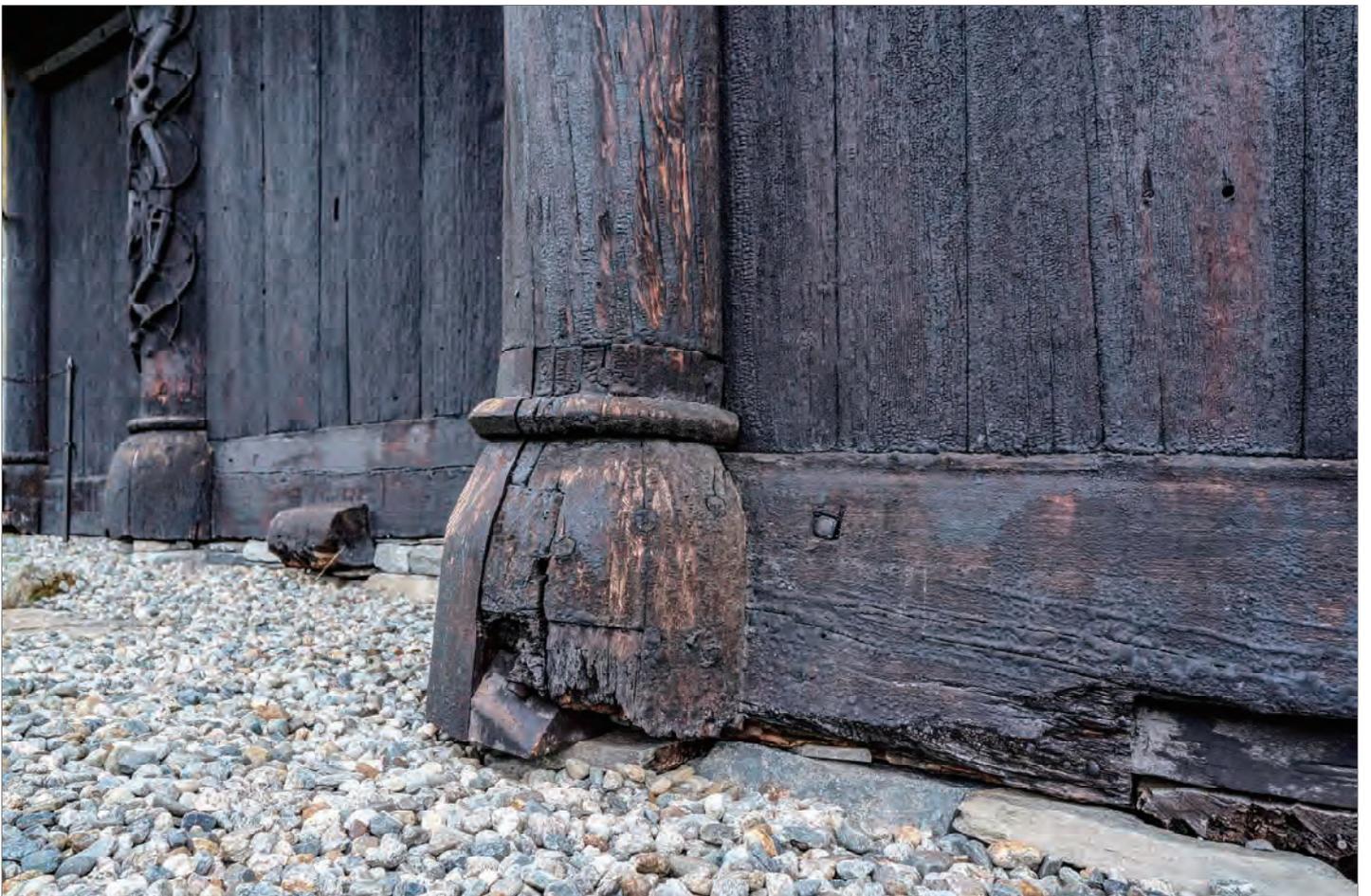
ウルネス スターヴ教会
ノルウェー
ソグン・オ・フィヨラネ
1130年頃



ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃



ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃



ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃

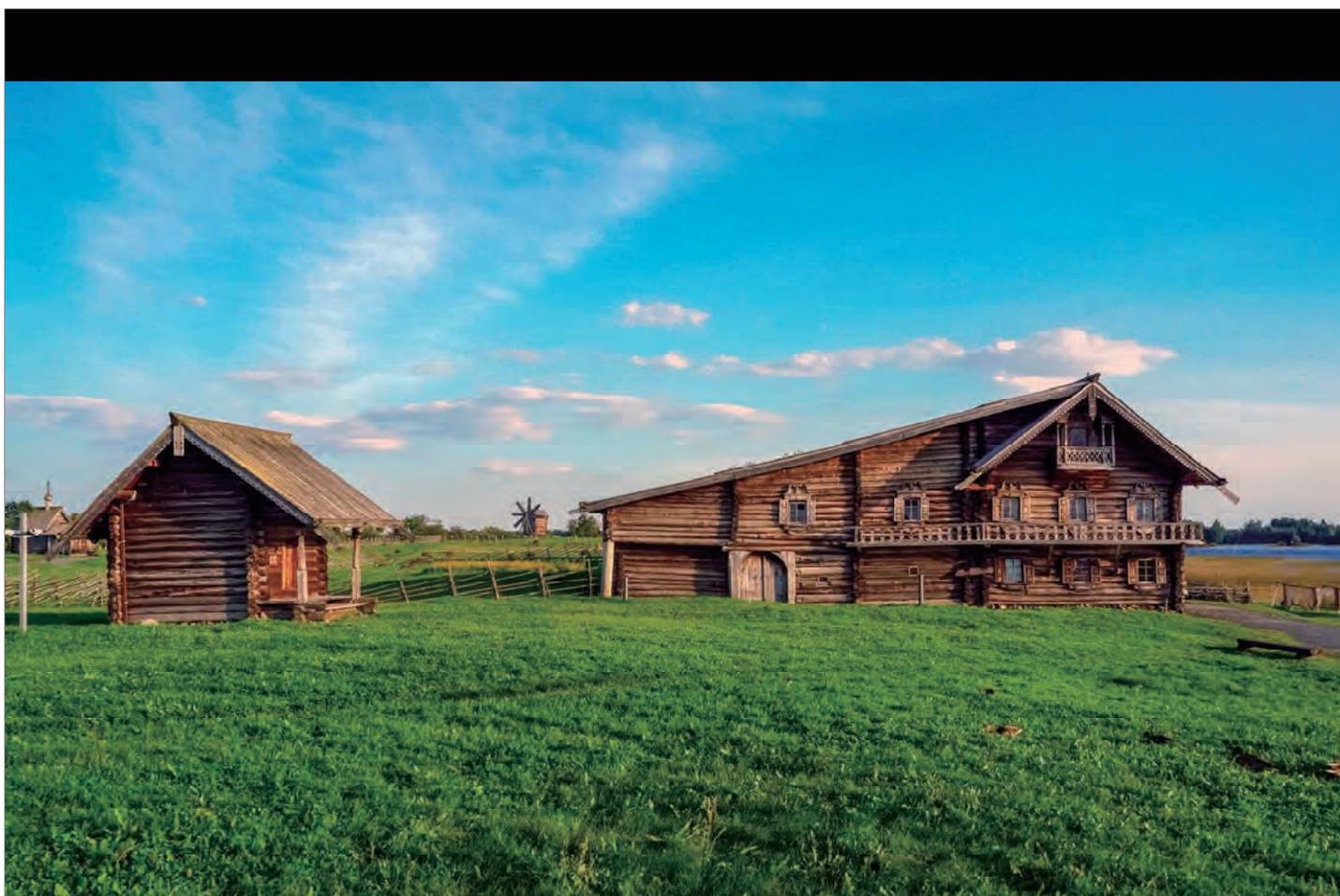


ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃



ウルネス スターヴ教会
ノルウェー ソグン・オ・フィヨラネ 1130年頃

キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島
1714年



ログハウス構造の住宅
ロシア・キジ島 1876年



ログハウス構造の教会
ロシア・キジ島 17世紀頃



キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島 1714年



キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島 1714年

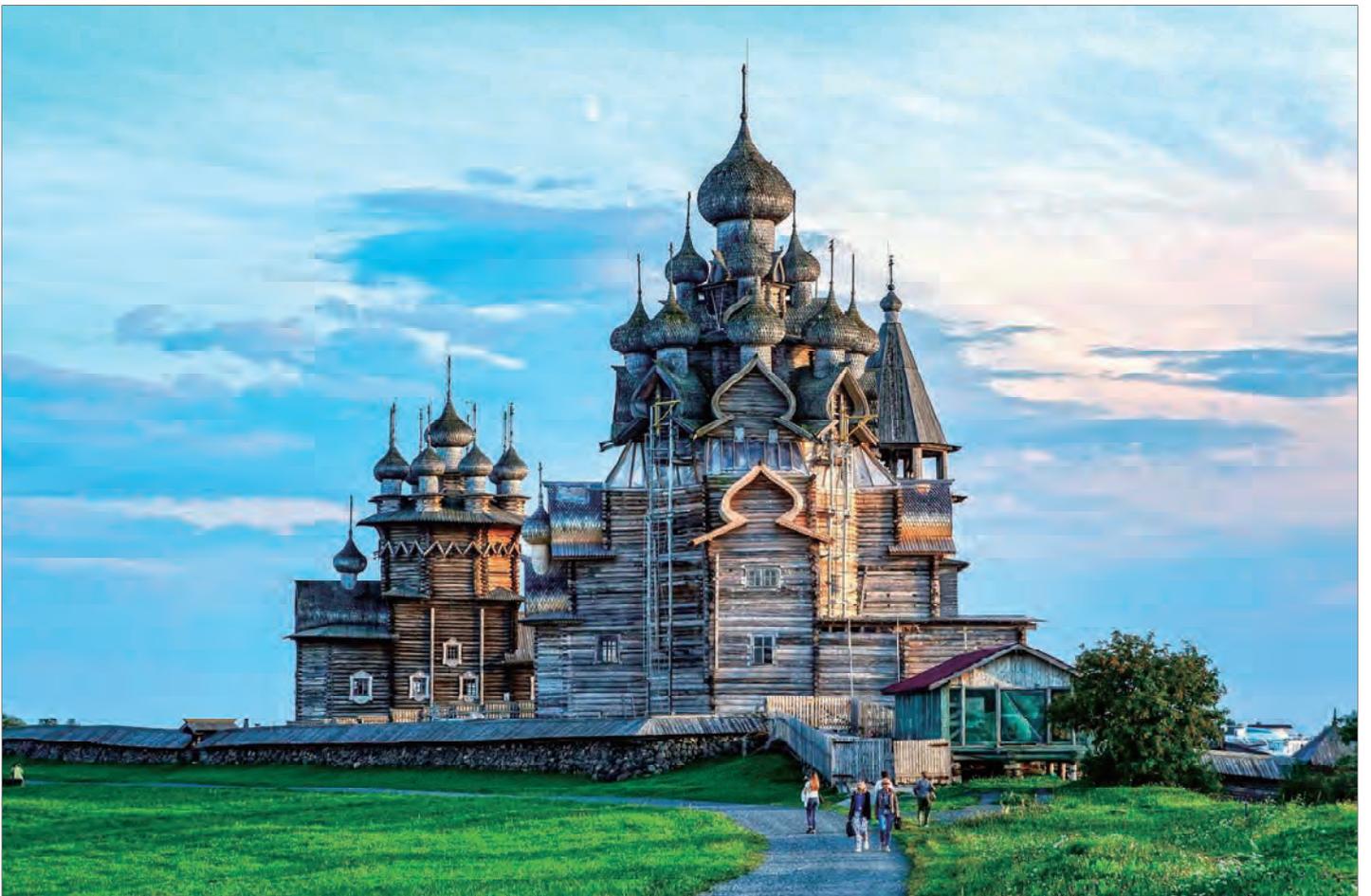
(益田兼房撮影)



キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島 1714年



キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島 1714年



キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島 1714年



キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島 1714年



28 キジ・ポゴスト ロシア・キジ島 1714年



キジ・ポゴスト ロシア・キジ島 1714年



キジ・ポゴスト
ロシア・キジ島 1714年

アニャナ塩田
スペイン・バスク地方
18世紀頃



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

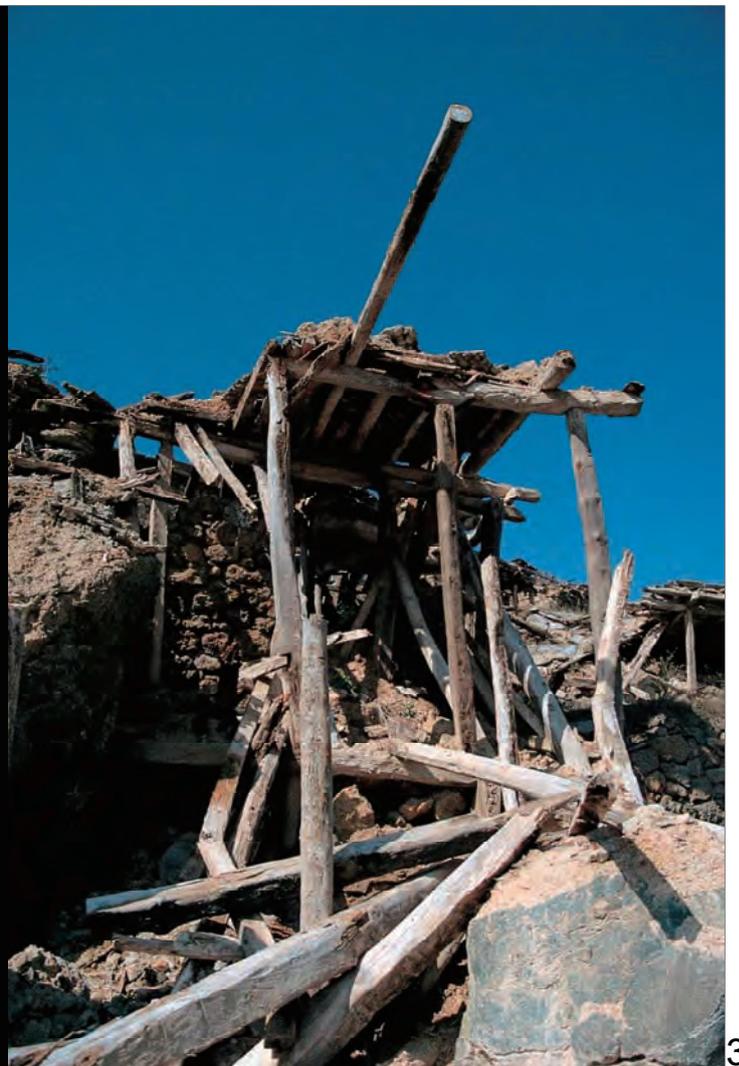
(Mikel Landa撮影)

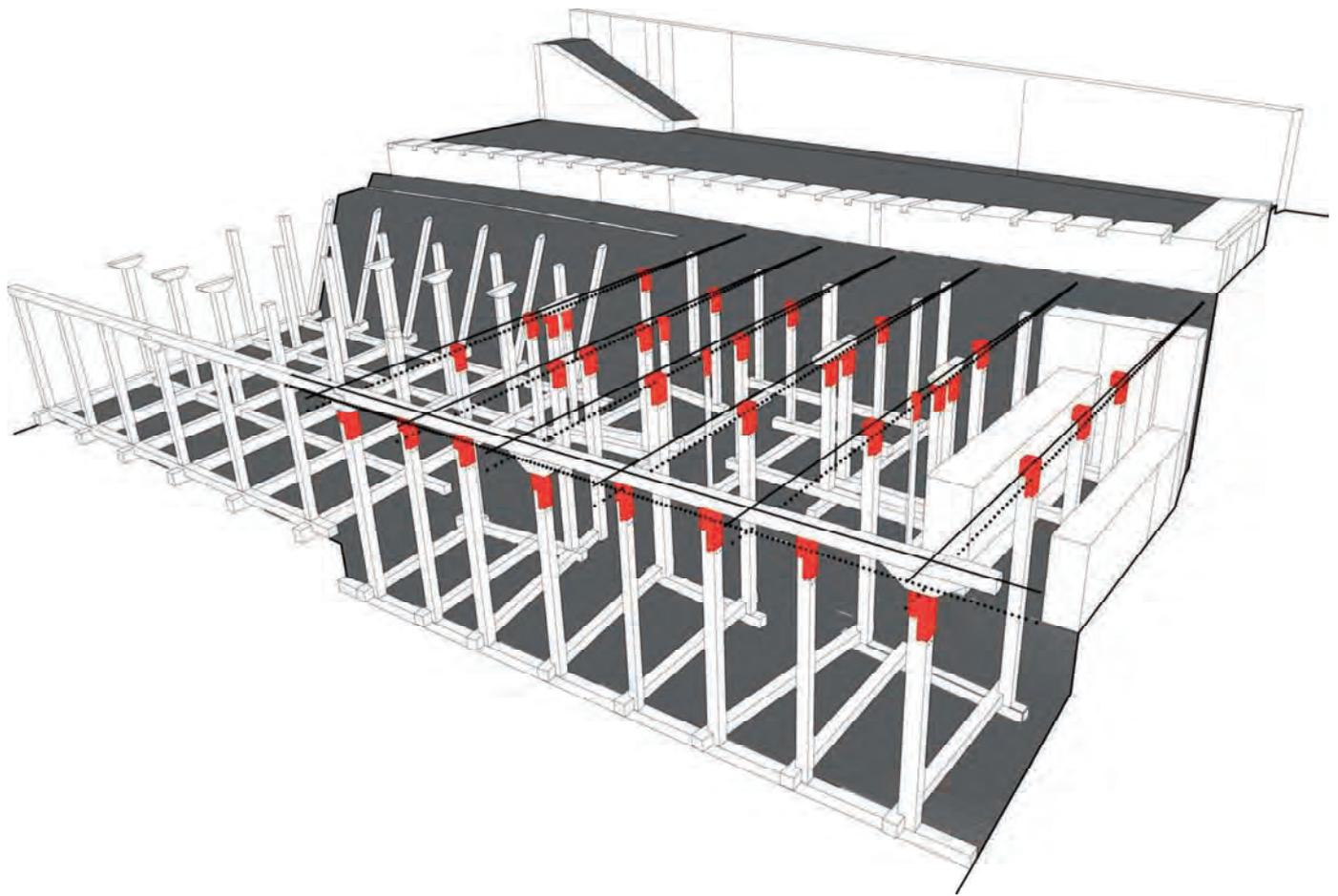


アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)

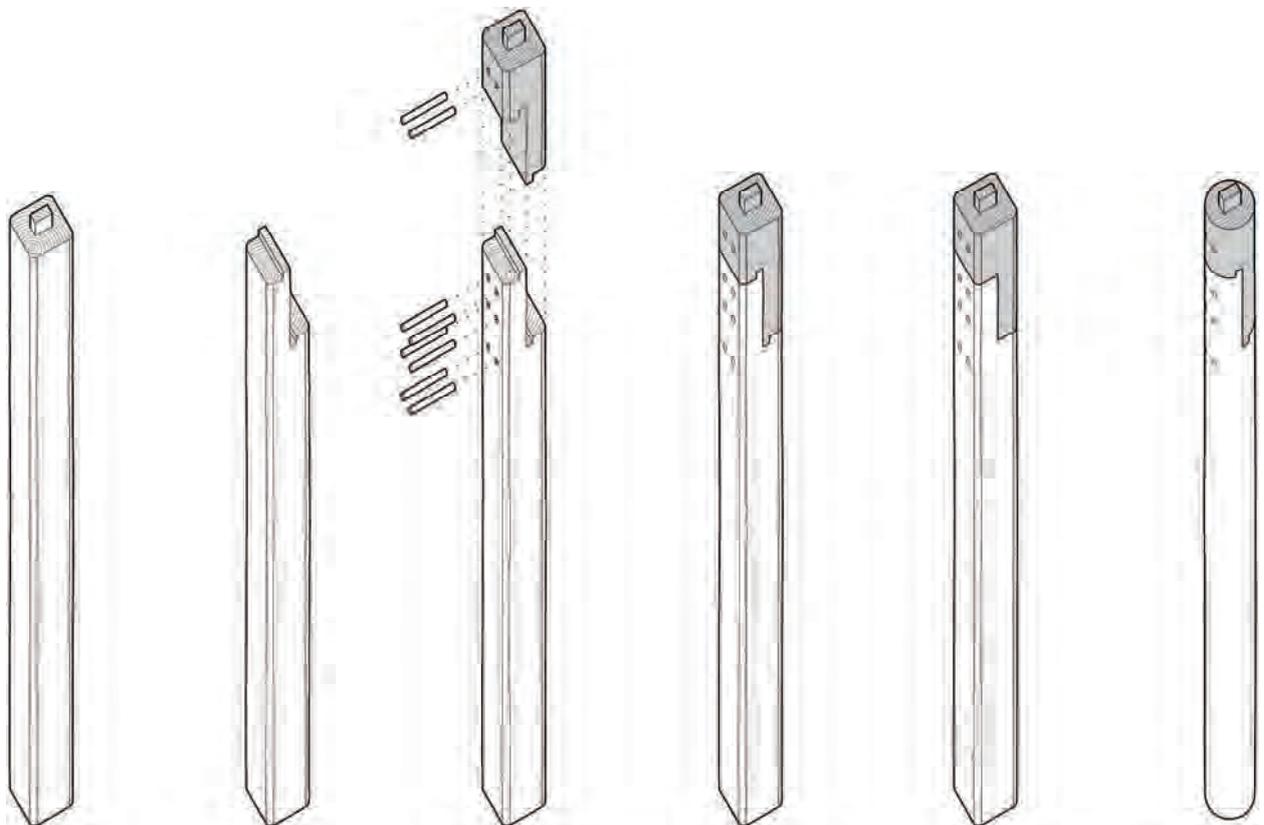
アニャナ塩田
スペイン・バスク地方
18世紀頃





アニャナ塩田
 スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa作成)



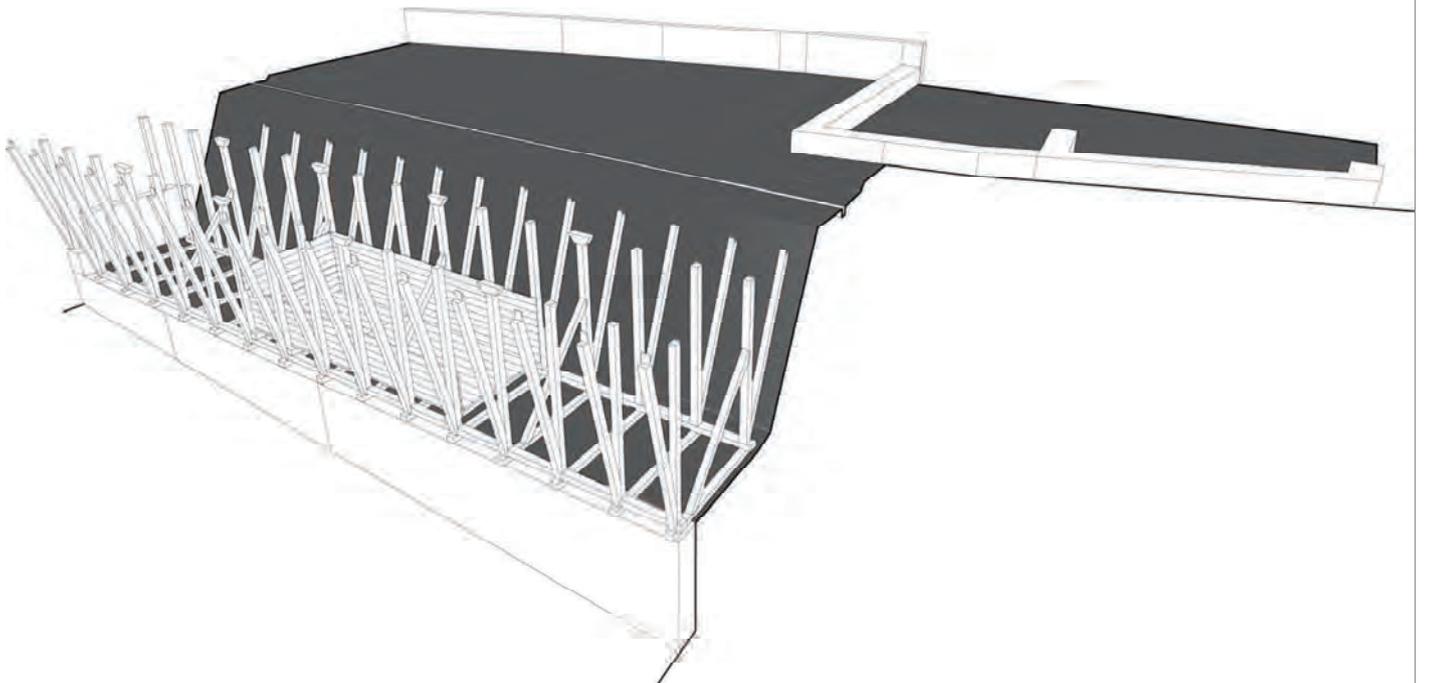
アニャナ塩田
 スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa作成)



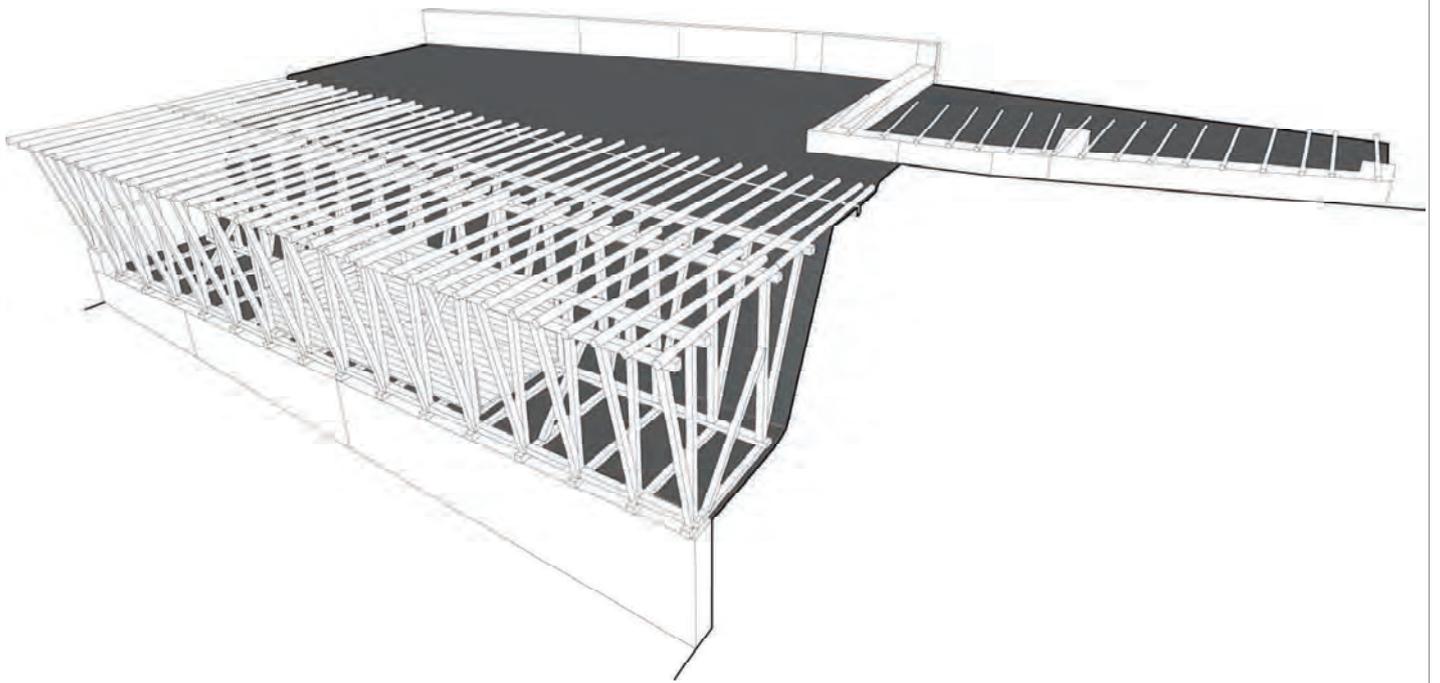
アジャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



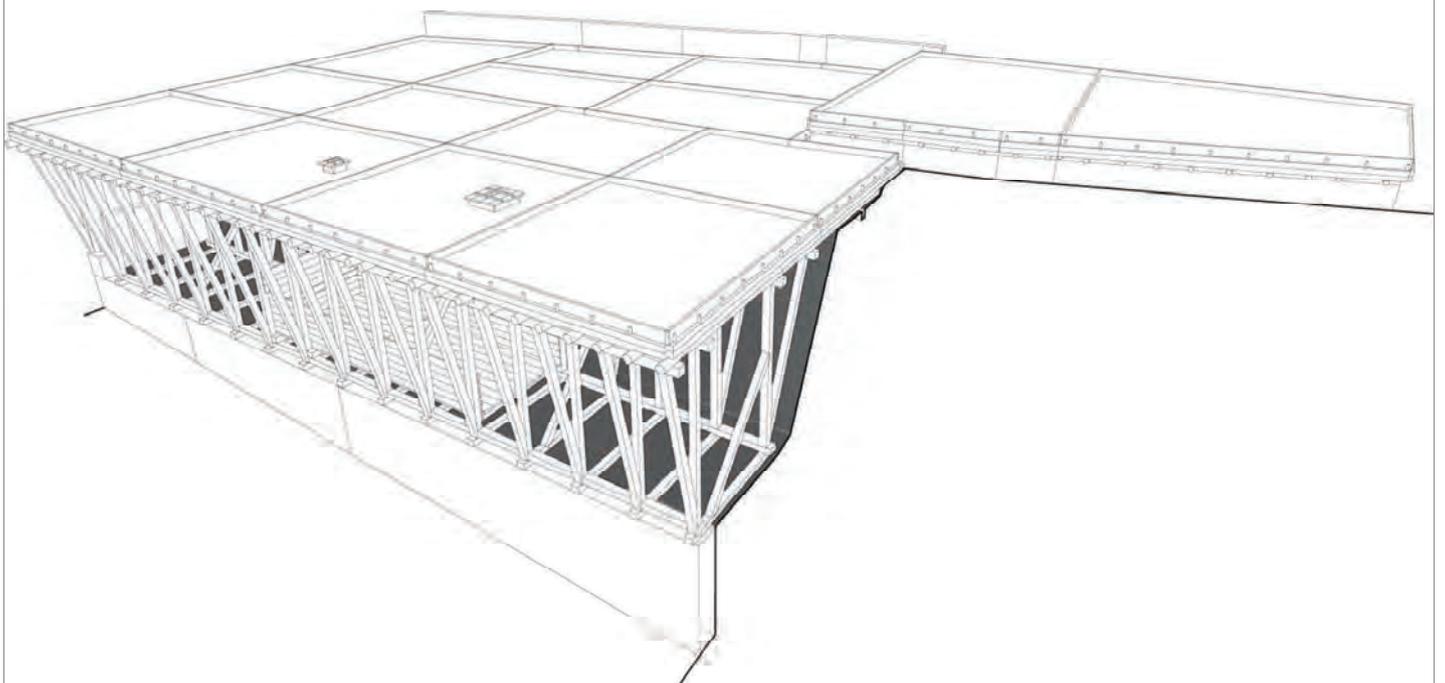
アジャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa作成)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa作成)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa作成)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)

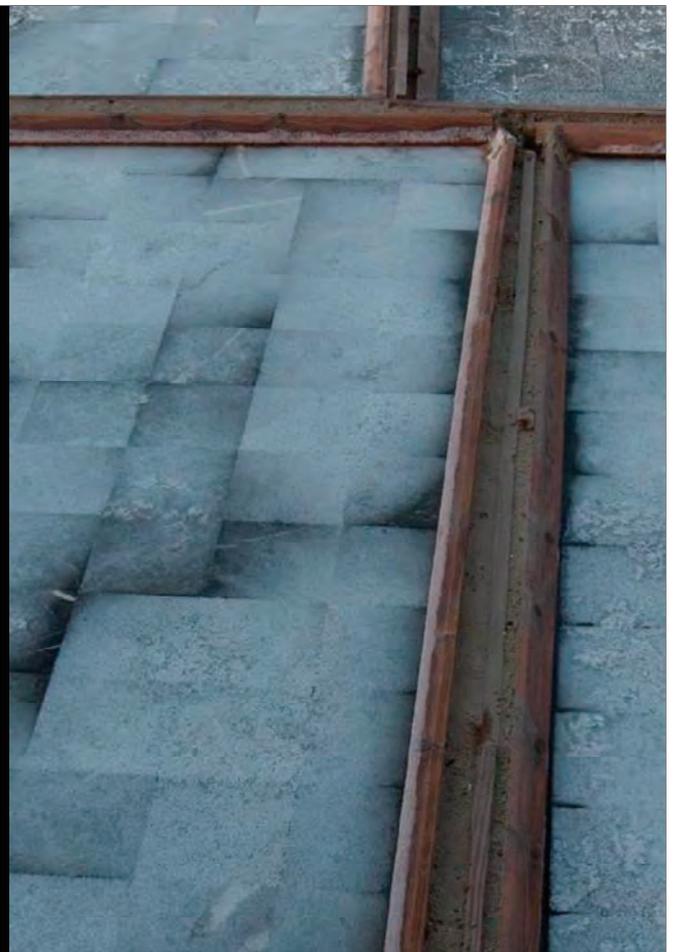


アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)



アニャナ塩田
スペイン・バスク地方 18世紀頃

(Mikel Landa撮影)

建造物



技術



資材



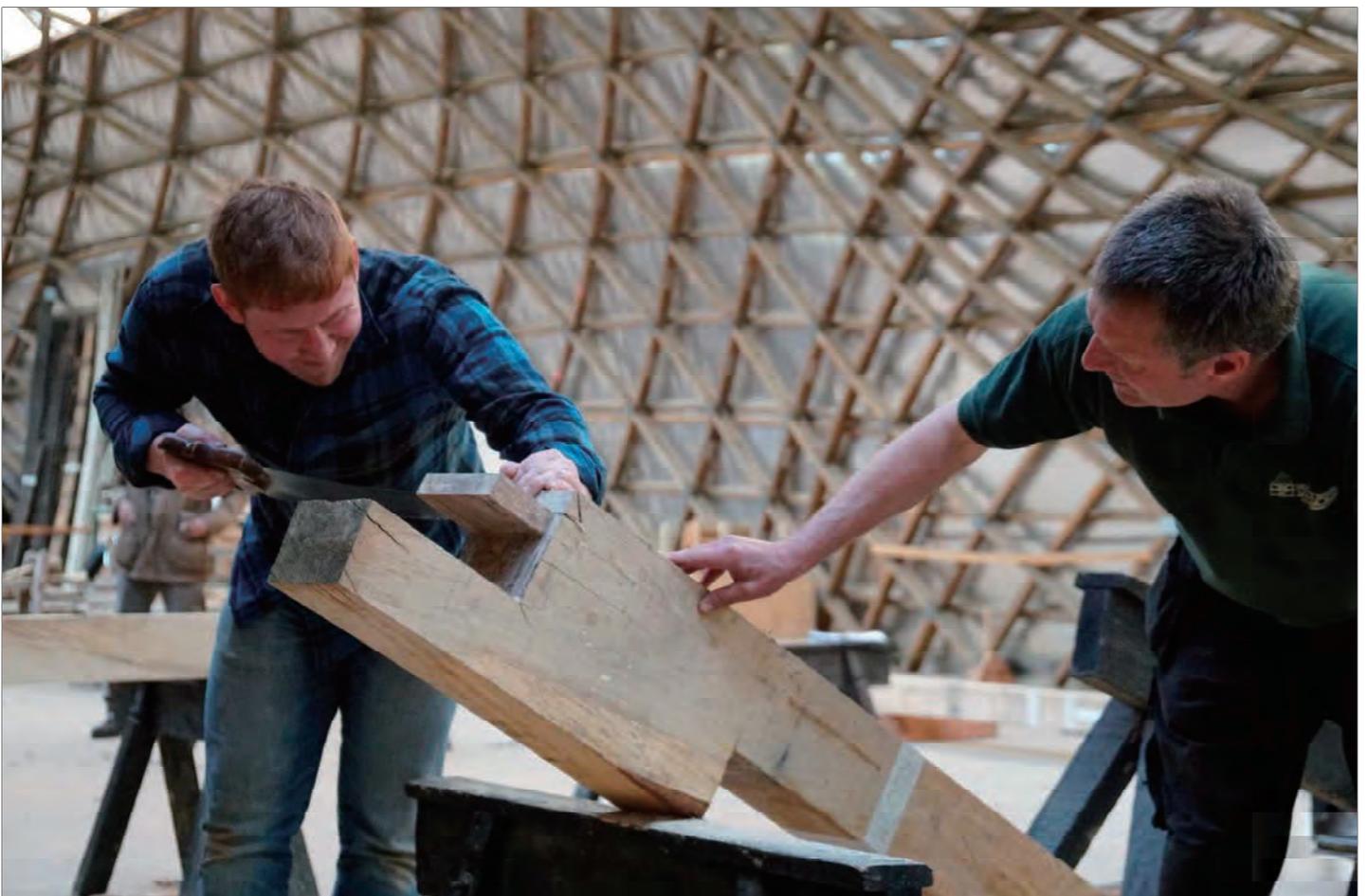
ウェールド・アンド・ダウンランド野外博物館 大工研修
イギリス



ウェールド・アンド・ダウンランド野外博物館 大工研修
イギリス



ウェールド・アンド・ダウンランド野外博物館 大工研修
イギリス



ウェールド・アンド・ダウンランド野外博物館 大工研修
イギリス



ウェールド・アンド・ダウンランド野外博物館 大工研修
イギリス



レーロース 大工研修
ノルウェー



レーロース 大工研修
ノルウェー



レーロース 大工研修
ノルウェー



レーロース 大工研修
ノルウェー

錦帯橋における オーセンティシティ

京都工芸繊維大学
清水 重敦

オーセンティシティとは？

- Authenticity 真正性、真実性、本物性
- 遺産の価値を担保する情報源の信用性、真実
→その遺産がどのくらい本物らしさを保っているか
- オーセンティシティは、保存、継承といった遺産への介入の際に失われがちである。



写真提供：岩国市（以下特記なきものは岩国市提供）





奈良ドキュメント(1994年)における オーセンティシティの再定義

- 文化圏ごとにおける定義の必要性
- 文化圏ごとの情報源の真価との関係
 - 形態と意匠
 - 材料と材質
 - 用途と機能
 - 伝統と技術
 - 立地と環境
 - 精神と感性
 - その他内的外的要因

オーセンティシティ概念の拡張

奈良ドキュメント以前

現在

- Material 材料
- Workmanship 加工・技術
- Design 意匠
- Setting 場所・環境



- 形状、意匠
- 材料、材質
- 用途、機能
- 伝統、技能、管理体制
- 位置、セッティング
- 言語その他の無形遺産
- 精神、感性
- その他の内部要素、外部要素

→伝統的な慣習、歴史的な積み重ねによる継承方法はここに包含される。

→しかしながら「材料」の観点は変わらず重視されている。

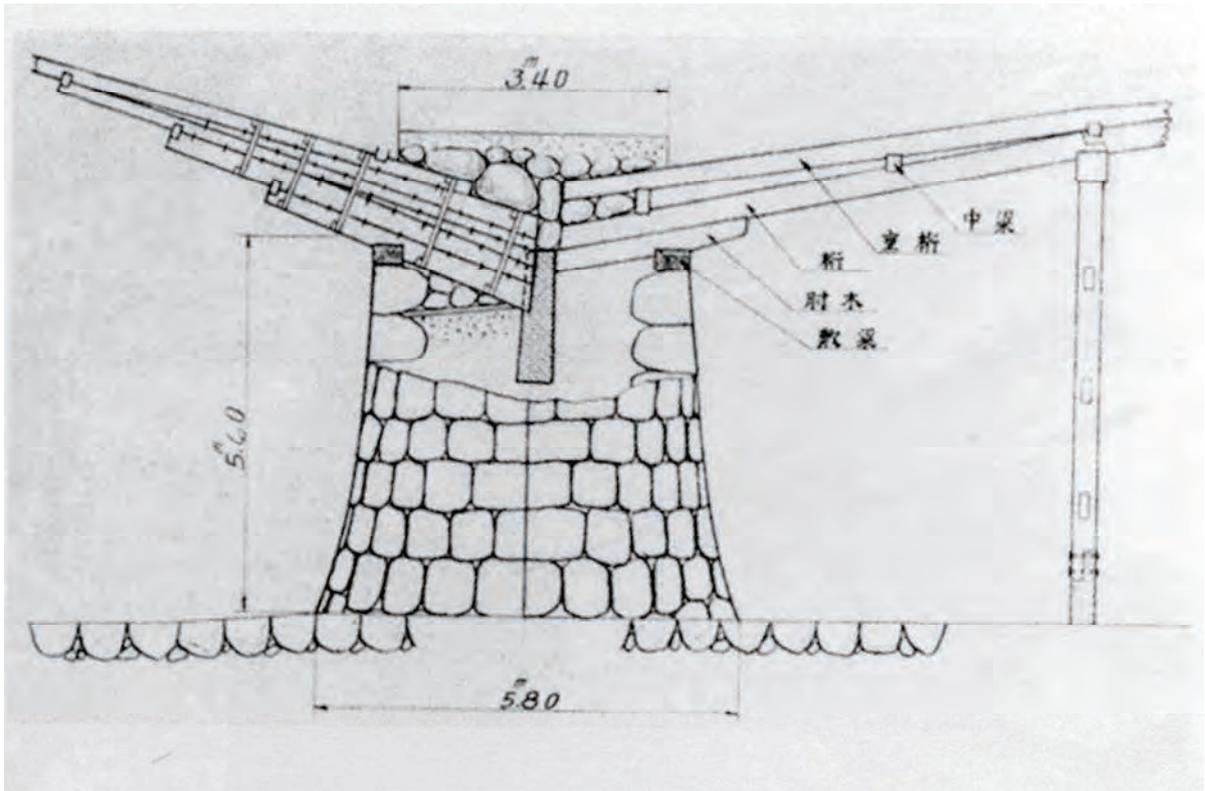
→錦帯橋における架け替えにいかなる必然性があるか。

架け替えに際していかにオーセンティシティが担保されてきたか。

錦帯橋における架替

年(竣工年)	工事内容					
	年号	西暦	第1橋	第2橋	第3橋	第4橋
延宝元	1673	○	○	○	○	○
延宝2	1674	○	○	○	○	○
天和3	1683		○	○	○	
元禄7	1694	○				○
元禄12	1699		○	○	○	
元禄16	1703	○				○
正徳4	1714		○	○	○	
元文2	1737	○				○
元文5	1740				○	
寛保元	1741		○	○		
延享元	1744	○				
宝暦6	1756					○
宝暦10	1760				○	
宝暦13	1763	○				
明和元	1764		○			
明和2	1765			○		
安永7	1778	○			○	
安永8	1779		○			
天明2	1782			○		
寛政8	1796				○	
享和2	1802		○			
文化3	1806			○		
文化8	1811				○	○
文政9	1826			○		
文政10	1827		○			
文政11	1828				○	
天保12	1841	○				
弘化2	1845				○	
嘉永元	1848			○		
安政5	1858				○	
安政6	1859		○			
明治元	1868			○		
明治4	1871				○	
明治28	1895			○		
明治30	1897		○			
明治31	1898				○	
昭和4	1929				○	○
昭和9	1934	○	○	○		
昭和27	1952	○	○	○	○	○
平成14	2002			○		
平成15	2003				○	○
平成16	2004	○	○			
合計		12	15	16	18	10

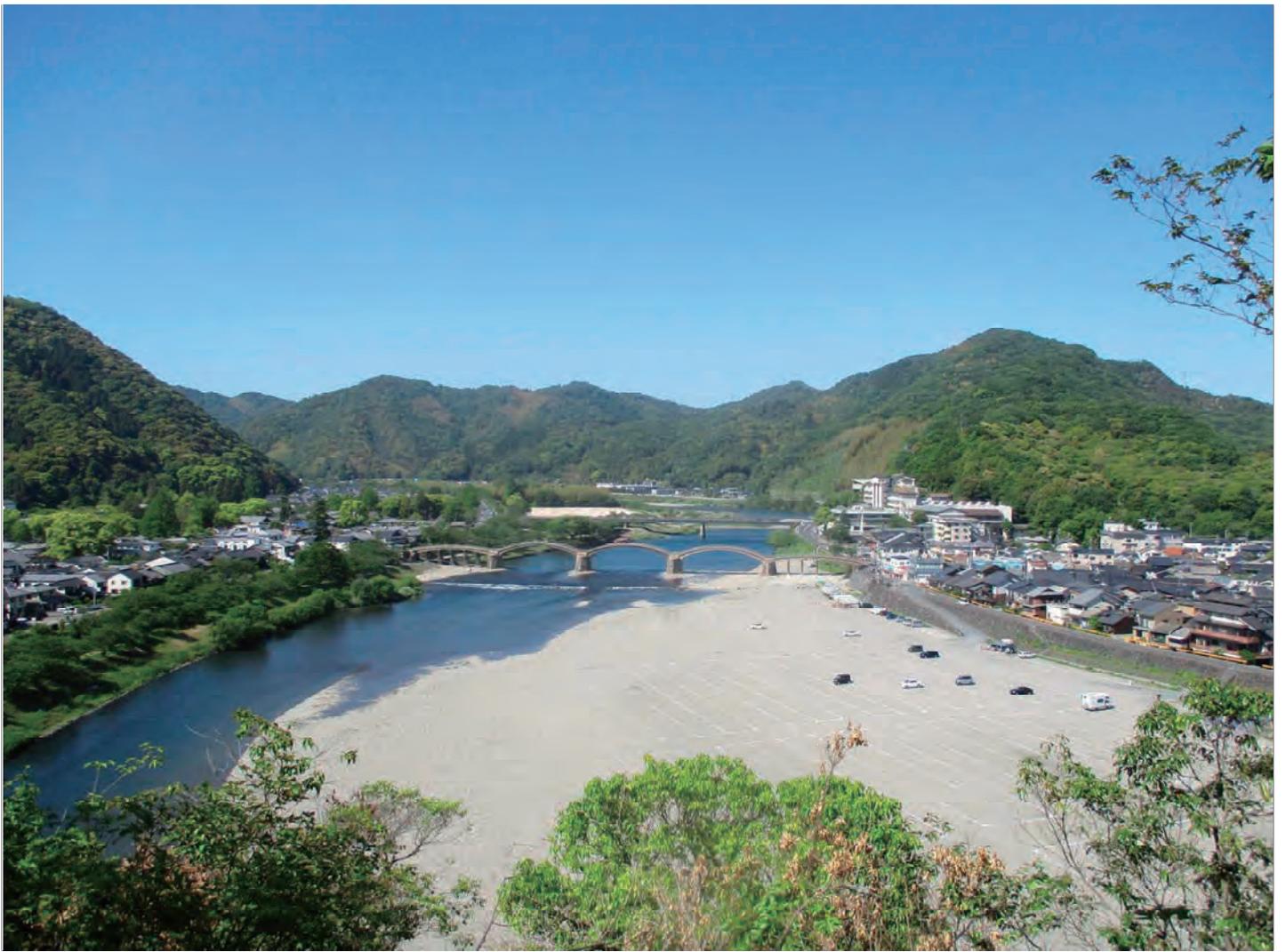
架替の必然性



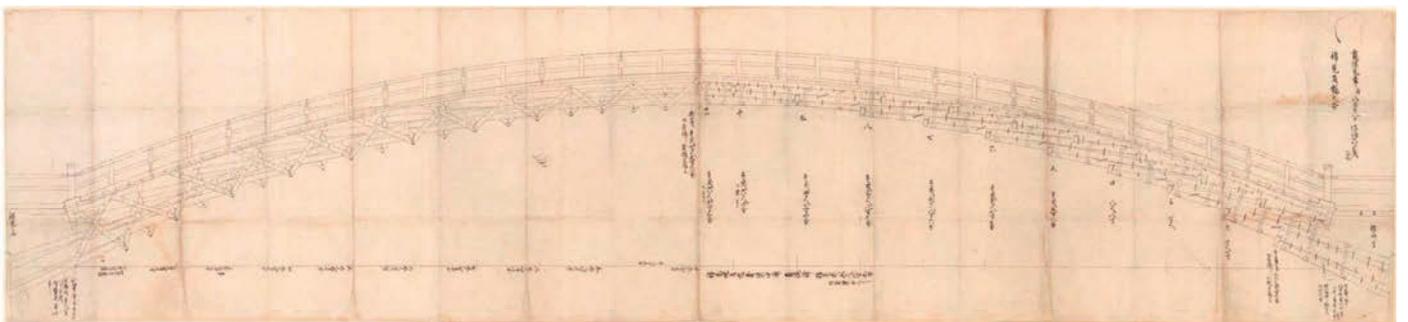
錦帯橋旧橋脚断面図

(『錦帯橋調査報告書』岩国市、2020)





錦帯橋構造図 元禄12年



錦見地反橋図 寛保元年

(『錦帯橋調査報告書』岩国市、2020)

錦帯橋における架替

年（竣工年）		工 事 内 容				
年号	西暦	第1橋	第2橋	第3橋	第4橋	第5橋
延宝元	1673	○	○	○	○	○
延宝2	1674	○	○	○	○	○
天和3	1683		○	○	○	
元禄7	1694	○				○
元禄12	1699		○	○	○	
元禄16	1703	○				○
正徳4	1714		○	○	○	
元文2	1737	○				○
元文5	1740				○	
寛保元	1741		○	○		
延享元	1744	○				
宝暦6	1756					○
宝暦10	1760				○	
宝暦13	1763	○				
明和元	1764		○			
明和2	1765			○		
安永7	1778	○			○	
安永8	1779		○			
天明2	1782			○		
寛政8	1796				○	
享和2	1802		○			
文化3	1806			○		
文化8	1811				○	○
文政9	1826			○		
文政10	1827		○			
文政11	1828				○	
天保12	1841	○				
弘化2	1845				○	
嘉永元	1848			○		
安政5	1858				○	
安政6	1859		○			
明治元	1868			○		
明治4	1871				○	
明治28	1895			○		
明治30	1897		○			
明治31	1898				○	
昭和4	1929				○	○
昭和9	1934	○	○	○		
昭和27	1952	○	○	○	○	○
平成14	2002			○		
平成15	2003				○	○
平成16	2004	○	○			
合 計		12	15	16	18	10

（『名勝錦帯橋保存活用計画書』岩国市、2021）

材料の更新を前提とする木造建築の保存・継承



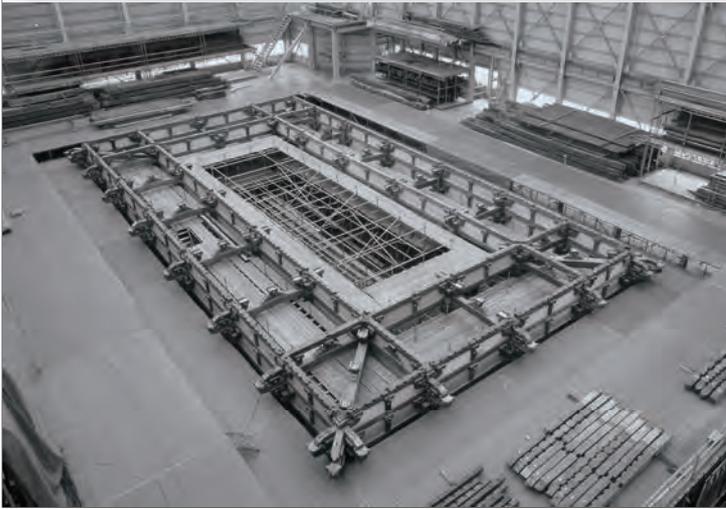


伊勢神宮 外宮 撮影 Martinez Alejandro



伊勢神宮 内宮 荒祭宮 撮影 Martinez Alejandro

文化財建造物の解体修理



二荒山神社神橋



猿橋 撮影 Martinez Alejandro



錦帯橋における材料の真正性とは？

- 「情報源」が保たれていること
- 有形要素とともに無形要素の役割が大きい
- 式年造替との差違：形式よりも機能

同形式でしか作り得ない必然

図面、型板等による技術継承

→材料は更新されるが、機能、固有の形式、技術継承の方法ゆえに、情報源が多様な形で記憶されている。

→材料における「記憶」のオーセンティシティ

MEMO



錦帯橋を世界遺産に！

錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会

事務局：岩国市産業振興部錦帯橋課

T E L : 0827-29-5107

E-mail : kintaikyo@city.iwakuni.lg.jp

ホームページ : <http://kintaikyo-bridge.jp>

